

社会福祉法人南相馬福祉会 役員等選任のお知らせ

理事長退任のあいさつ

舟山 正和



私はこの度南相馬福祉会理事長を退任いたしました。平成13年10月の就任以来南相馬市各区に特別養護老人ホーム、グループホームを整備するとともに、通所・在宅においても充実した介護サービスを提供し、地域高齢者福祉の拠点となるべく努めてまいりました。

17年8ヶ月の在任期間中には数々の思い出がありますが、その中で最も強く心に残っているのは、あの東日本大震災と原発事故の発生による避難行動及びその後の復旧・施設再開に関わる事々です。法人全施設が避難を余儀なくされ、ご利用者、職員を合わせ、二百名を超える方々と共に横浜市の介護施設への避難は、予想を遥かに超えた経験であり、今でも私の脳裏を離れることはありません。避難先での職員のご苦勞と献身的な介護に、改めて敬意を表します。その後の復興には時間を要しましたが、次第に社会福祉法人としての任務を軌道に乗せることが出来つつあります。これも役員諸氏と職員皆様のお力添えのお蔭であり、心より感謝申し上げます。

今後は介護職の補充確保、介護の質の向上、医療との連携等の課題を前に進める時であります。幸い私の後任には当法人創設当初から深い関わりのある大内敏文氏が就任しましたので、これまでの経験を活かし、地域に貢献する社会福祉法人としての役割を果たせるものと期待しています。

皆様におかれましては、今後も更なるご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、南相馬福祉会の益々の発展を祈念し、退任のご挨拶といたします。

理事長就任のあいさつ

大内 敏文



日頃より当法人の運営にあたり、各事業所のご利用者の皆様をはじめ、ご家族、地域の方々の温かいご支援・ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

令和元年6月21日に開催されました当法人理事会におきまして、前理事長舟山正和氏の後を継ぎ、若輩ながら理事長に就任することとなり、その責務の重さに、身の引き締まる思いがいたします。

当法人は、平成9年7月に法人認可を受け、「安心・信頼・やすらぎ」を経営理念として、平成11年、原町区に福寿園・さくら荘を開設、平成14年に鹿島区に万葉園・たんぽぽを、平成16年には小高区に梅の香を開設いたしました。その後、グループホーム小高、石神デイサービスセンター・グループホーム石神と、順次事業所を開所し、現在に至っております。

しかしながら、当法人を取り巻く環境は決して平坦ではなく、介護人材の確保・育成や原発事故からの再構築、持続可能な経営など、多くの課題を抱えておりますが、皆様のお力添えをいただきながら、一步一步着実に前進できるよう取り組んでまいります。

結びに、この地域にとってなくてはならない存在と評価される法人として、その使命を果たすべく努力いたします所存です。ので、引き続きご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

役員体制について

令和元年6月21日(金)に開催された令和元年度定時評議員会において、令和3年6月開催予定評議員会までの間の役員が選任されました。

理事長

大内 敏文

常務理事

菅原 武

理事 西浦 武義

理事 中川 正勝

理事 高玉 智子

理事 伊関 育子

監事 田沢 敬市

監事 石井 幹雄



菅原 武



西浦 武義



中川 正勝



高玉 智子



伊関 育子



田沢 敬市



石井 幹雄

事業所管理体制について

令和元年5月29日に開催されました令和元年度第1回理事会において、新たな事業所管理体制及び管理者が決定いたしました。令和元年7月1日付、新体制により適正な事業所運営に努めてまいります。

特別養護老人ホーム福寿園	施設長	菅原 武	副施設長	阿部 雅志
ケアハウスさくら荘	施設長	菅原 武	副施設長	阿部 雅志
福寿園デイサービスセンター	施設長	川久保 浩美	副施設長	渡部 和美
福寿園ヘルパーステーション	所長	川久保 浩美	副所長	益山 公男
原町東地域包括支援センター	所長	川久保 浩美	副所長	益山 公男
福寿園居宅介護支援センター	所長	川久保 浩美	副所長	飯島 直美
特別養護老人ホーム万葉園	施設長	高玉 智子	副施設長	山田 裕子
グループホームたんぽぽ	施設長	高玉 智子	副施設長	山田 裕子
特別養護老人ホーム梅の香	施設長	鹿山 奈美	—	—
グループホーム小高 (休止中)	施設長	鹿山 奈美	—	—
石神デイサービスセンター	施設長	伊関 育子	副施設長	松岡 裕美
グループホーム石神	施設長	伊関 育子	副施設長	松岡 裕美
法人本部	—	—	事務長	門馬 誠